

【南牧村】校務DX計画

2025年3月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	※留意事項
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	50%	100%	100%	100%	・クラウドツールの未活用やFAXでのやり取り・押印の見直し、不合理な手入力作業の一掃については、校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因になっているものであることに十分留意すること。
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%	
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%	
選択項目	3.学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信している学校の割合	0%	33%	100%	100%	100%	・自治体として力を入れた内容をリストから選択する。 ・選択肢はGIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストの34項目より作成。自己点検の結果等を踏まえつつ、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題を選択する。
	9.1人1台端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭で利用できるようにしている学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%	
	16.職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化している学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%	
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	・押印が必要な書類があるため、押印の廃止はできない。 ・FAXについては、物品の注文にFAXを使用していることが多い。相手方の都合でFAXを使わざる負えない場合がある。 ・役場のDX化が進んでいない。					
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	・教職員のスキルアップ・学校内のできるところから、押印の廃止、ペーパーレス化の推進など					
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	・R6から校務系ネットワークは、cloudを利用するようになり、職員室以外で利用できるなど使いやすくなった。 ・校務支援システムの導入により、ペーパーレス化が進んだ。保護者への連絡ツールが、オクレンジャーのみで、他のツールを考えていくことが必要。 ・教材や指導資料などを他市町村の教員と共有できるシステムが作れると先生方の負担が軽減できると思う。					

※この計画は「公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領」の14ページを参考に作成。